



# えごた

<http://nk-egota-e.a.la9.jp>

令和2年  
9月号9月18日  
江古田小学校  
児童数 432名

TEL03-3385-0411

学校の教育目標◎かながえる子ども○やさしい子ども○たくましい子ども(◎重点目標)  
目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」



## Connect with words Connect with people Connect your heart

校長 松井 貴子

【人権について向き合い、メッセージ（情報）を生きて働く知識としていく】

9月14日の全校朝会では、テニスの大坂なおみ選手が全米オープン優勝インタビューで「どんなメッセージを伝えたかったか。」の質問に「どんなメッセージを受け取りましたか。」と答えたことについて話をしました。大坂選手は暴力による犠牲者の名前の書かれた黒いマスクを着けて試合をしました。「伝えたいのはより疑問に思うこれら。人々が人種差別の議論を始めてくれればいい。」と考えて行動をしたそうです。

デンマークのコペンハーゲンに「ヒューマンライブラリー」という図書館が開設されました。ヒューマンライブラリーの目的は、芸術家や障がい者や社会的マイノリティに対する偏見を減らし、相互理解を深めることからスタートしました。人を本に見立て、知らない人と話ができると同時に、他人の知識を学べるという企画です。対話を通して学びます。そこには新たな対人関係構築効果や自己拡張（自信・勇気）効果が期待できると言われています。

学校では、オリンピック・パラリンピック教育やキャリア教育において様々な方、専門の方をゲストティチャーとしてお迎えし交流を通して学んでいます。今年はコロナ禍のため例年より交流が難しい状況ではありますが、安全面に十分配慮し、工夫して知識や体験、様々な価値観を知る機会を企画し実施したいと存じます。

そして、それを受けとる側の子どもたちが家庭で話し、話の内容を咀嚼して正しい判断力を培っていけるよう、共に考え導いていただきたいと思います。多様な価値観を知るためにも家の方との会話はとても大切です。

9月12日土曜日に公開はできませんでしたが、準備していた道徳授業地区公開講

座の授業を全学級実施しました。学校で重点としたテーマは、「親切・思いやり、生命の尊さ」でした。

お子様は、授業で学んだことをご家庭で話すことできたでしょうか。各学年の取組を中ページで紹介しますので御覧ください。まだ、話題にしていないようでしたら少しの時間で構いませんので御家庭の様子を聞いていただければ幸いです。

【「言葉でつながる 人とつながる 心がつながる」】

江古田小読書ボランティアの方のお力添えをいただき、6年生「命の大切さ」特別授業を実施しました。子どもたちの感性の鋭さ、豊かさが存分に発揮された時間となりました。コミュニケーションの中で大切な力の一つは、傾聴です。

本の読み聞かせリレー時の児童のミッションは、一人ひとりの心に響いた言葉やフレーズを拾い集めることです。なぜその言葉が自分の心に響いたのか自己との対話の中で見つめ、最後にテーマの「命のつながり」との関連で考えを整理しました。

6年生児童は「今あるものはすべてはじまりがあったという言葉が一番心に残りました。」「私は命の大切をより深く知ることができました。自分は今とても幸せです。命を大切にしながら1日1日を大切に生きて行きたいです。」「私たち人間は、海・動物・植物・地球とつながっている。海から植物までの物があるから人間がいると思いました。」等の感想をもちました。

この先、たくさんの自分を支え鼓舞するあるいは自分の心を見つめポジティブに考えることができる言葉を貯めていき、一人ひとりが生き抜く力を高めていくことを心より願っております。